

児童発達支援

個別支援プログラム

そら

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービス そら

多機能型

作成年月日 2024年11月22日

事業所理念：尊厳ある人として、未来に向かう子どもたちに配慮ある社会を実現する

支援方針：全体発達を促し、見る・聞く・触れるから「わかる力」に繋げる。

営業時間：平日 10：00～18：00・学校休業日 10：00～16：00

送迎実施の有無：有

サービス提供

週1回 10：00～12：00

本人支援の5領域項目支援内容

<言語・コミュニケーション>

「りんご」の「り」が言えた時「りんごって言えたね」と言葉の発達を見守ります。

「イヤ」が言える環境を作り自己主張を育てます。

「とって」「まって」「かして」の要求のことばを引き出します。

他児とのぶつかり合いでは双方の思いを代弁して、相手の気持ちにも気づかせます。

<健康・生活>

手洗い、うがいの習慣を通して抵抗力のある身体作りをします。

排泄指導、着脱指導、準備からお片付けを通して生活の主人公を育てます。

行事を通して、身近な季節の移ろいを感じることから豊かな情操を育てます。

<運動・感覚>

公園の固定遊具、庭の乗り物遊びから体幹やバランス感覚を育てます。

まねっこ遊びは、目で捉えたものの動きに追従して集中力と模倣力をつけます。

ひも通し、ハサミやせんたくピン、トングを使って目と手の協応を導きます。

リトミックを通して、音楽に合わせた全身の動きとコントロール力を培います。

<認知・行動>

具体物を使っての数遊びや、仲間集め遊びで、概念形成に向けて指導します。

点つなぎ、めいろ、パズルを使って空間把握の認知形成をします。

靴や、服の着脱から手順を身につけたり、前後・左右の認知を育てます。

だるまさんが転んだ、かくれんぼ等を通して、ルールを身につけていきます。

繰り返しことばのある絵本をよんだり、擬音語などから、良い耳を育てます。

<人間関係・社会性>

安心できる大人が全面受容して、基本的信頼関係を構築します。

仲間とイメージを共有しての見立てつもり遊びから、友だち関係を育みます。

「〇〇したかったけど△△する」から行動調整をはかり、社会性を発達させます。

一人の空間で過ごせるスペースがあることで情緒の安定を図ります。

家族支援

お茶とお菓子をご用意して、定期的に保護者様交流の場を開催しています。
普段からタイムリーにLINEで連絡を取り合い、情報を共有しています。
家族様からの相談に対して適切な助言や、ペアレントトレーニングを行っています。
特性に配慮した適切な家庭環境の整備を提案しています。
就労や家族事情による、預かりニーズに対応する為の支援を行っています。

移行支援

保育所や幼稚園への移行支援として、連絡を取り合っています。
地域の児童館、地域住民との交流を通して、地域との繋がりを大切にしています。
ライフステージに向けて途切れのない支援の在り方を、協議し準備していきます。
地域で暮らす他の子どもと、繋がりながら普段の暮らしができるよう取り組みます。
保護者様の意向を踏まえ、園と会合を持っています。

地域支援・地域連携

保育所・学校との情報連携や、医療機関への同行受診を行っています。
事業所の専門性を活かして、地域の保護者様からの相談に応じています。

職員の質の向上に資する取り組み

- 1, 事業所内研修や外部研修に参加しています。
 - ・虐待防止研修・身体拘束適正化研修・感染症予防研修・事業継続計画研修
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
 - ・経験と専門性を有する内部職員等による研修
（保育士・特別支援教育士、心理士、元ことばの教室指導者、元支援級担任
精神保健福祉士・カウンセラー）
- 2, 療育開始前のミーティングの充実。
 - ・日々の療育計画案と実行、改善を常に話し合っています。

主な行事等

- 1, 春 お花見散歩で季節の花と一緒に眺めての体験は、伝えたい想いを育みます。
- 2, 夏 プール遊びをダイナミックに満喫すると充足感から笑顔が出ます。
- 3, 秋 散歩・公園遊びでは、小川に葉っぱを流したり、虫を見つけて大喜びです。
- 4, 冬 雪遊び、コロコロと雪だるまを作ったり、雪投げで汗がびしょりです。